

第 52 回理事会議事録

1. 日 時：2018 年 12 月 21 日（金）午後 18 時 30 分～20 時 10 分
2. 場 所：東京都新宿区四谷 1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル 2F 四谷ブリッジセンター
3. 出席者：【理事 11 名】 鳩山勝郎、浅越ことみ、伊藤直彦、ロバート・ゲラー、齋藤陽子、清水康裕、寺本直志、橋本公二、古川京司、山田和彦、吉田正
【監事 1 名】 成田秀則
【事務局 4 名】 清水映樹事務局長代行、大政哲人管理部長、仲村篤志競技会事業部長代行、高野英樹普及事業部長
(理事現在数：13 名、定足数 7 名、本人出席 11 名)

4. 議事の経過及び結果

鳩山勝郎会長代行を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案 第 51 回理事会議事録の承認について
議事録案を承認した。

第 2 号議案 会員の逝去について
以下の会員の逝去が報告された。
野口威（会員番号 20224、11 月 30 日）

第 3 号議案 平成 31（2019）年度予算案について
鳩山会長代行より、12 月 7 日に開催した業務執行会議および企画委員会の合同会議で検討を行った来年度予算案について、以下の説明があった。
2019 年度はブリッジフェスティバルの非開催年度にあたり、開催年度である 2020 年度と合計した 2 年間で收支均衡を目指している。従って、ブリッジフェスティバルの開催費用が約 1,400 万円であることから、2019 年度予算は 700 万円程度の黒字を目標としている。
それに対して、2019 年度予算案は 314 万円の黒字である。その主な原因は、2019 年度は世界選手権が開催されるため代表派遣が 2018 年度予算比で約 500 万円の経費増となっていること、公認料収入を 2018 年度予算比で約 270 万円減額し堅実な見込みとしたことである。今後、人件費を含む管理費の反映を行うことで、目標である 700 万円の黒字に近い数字に落ち着くものと予測している。1 月の理事会でより正確な見通しを報告する。
予算案については 1 月の理事会で検討を行うこととした。

第 4 号議案 各委員会及び事業部報告

1. 企画委員会

吉田企画委員長より 11 月 14 日開催の企画委員会について以下の報告があった。

消費税対応の件は、2019 年 10 月に予定されている消費税率の変更後のセクショナルの 1 日の競技会参加料について、3,000 円のまま据え置くセンターと値上げを検討しているセンターとの 2 つに分かれている状況である。連盟の方針については BULLETIN2019 年 3・4 月号の連盟広報で説明を掲載する。

2. 代表選抜委員会

橋本代表選抜委員長より第 52 回 APBF 選手権日本代表の選抜状況について報告があった。ウィメンの 1 チームの代表指名、およびミクストの 4 チームの代表選抜試合への招待を承認した。

ウィメン代表

大手瑠利、佐藤牧子、島村京子、福吉由紀、宮国亜矢子、柳澤彰子

ミクスト代表選抜試合招待

宮国健次、星維子、田多井菊雄、太田裕子、三浦裕明、仙石響子

阿部弘也、坂本弥生、勝部俊宏、勝部雅子、趙金龍、島崎彩子

早坂雅之、下保俊子、松本直人、杉野すみ子、水間洋二、田中裕子

野田裕之、野田祐子、成田秀則、高崎恵、上田哲也、上田真理子

派遣するカテゴリーが 4 つに増えるにあたって、NPC の費用の助成について見直してはどうかとの提案があり、代表選抜委員会で検討することとした。

3. 競技委員会

寺本競技委員長より 12 月 5 日開催の競技委員会について報告があった。仲村競技会事業部長代行よりマスターポイント規則の修正案について、内容的な変更はなく細かい補足や追記を行った旨説明があった。検討の結果、これを承認した。

4. 普及事業部

高野普及事業部長より以下の報告があった。

ねんりんピック富山 2018 (11 月 3 日～5 日)、国民文化祭・おおいた 2018(11 月 17 日～18 日)、アート&ライフマーケット吉祥寺、横浜 (11 月 12 日、28 日) にそれぞれブリッジ体験ブースを出展した。

10 月 25 日～28 日に中国の徐州市で開催された世界大学選手権で日本チームは 10 チーム中 6 位となった。

ユースの助成および選抜に関する細則を新たに定めた。

高野普及事業部長より APBF ユース選手権の代表選抜状況について報告

があった。ジュニア（26歳未満）の1チームの代表指名を承認した。

ジュニア代表

遠藤瑛輔、金子雄大、DerekNeo、西村優作、日野雄之、吉田和博
キャプテン(NPC)三浦裕明

5. 競技会事業部

仲村競技会事業部長代行より競技会事業部活動状況および資格獲得者の報告があった。

仲村競技会事業部長代行よりエンゼル社の協賛が2018年をもって終了することになった旨報告された。

仲村競技会事業部長代行よりナショナルディレクター養成プロジェクトの開催頻度を2年に1回から3年に1回に変更することが提案された。検討の結果これを承認し、運営細則をそれに合わせて修正することとした。

6. 国際交流事業部

高野国際交流事業部長代行より、2019年4月に中国の上海で開催されるYeh杯2019に日本チームが招待された旨報告があった。同大会に日本代表1チームを派遣することとし、メンバーは第52回APBF選手権オープン代表の寺本直志、田中陵華、古田一雄、田中秀悟、横井大樹の5名またはその5名を含む6名とした。

高野国際交流事業部長代行より2019年2月に開催される横浜ブリッジフェスティバルの海外参加チームの申し込み状況について報告があった。

高野国際交流事業部長代行より2019年3月で終了するJOCの準加盟資格の継続について、2019年4月以降は承認団体としてJOCに申請を行う旨提案があり、これを承認した。

7. センター協議委員会

山田センター協議委員長より11月13日開催のセンター協議委員会について報告があった。

8. 人事委員会

齋藤人事委員長より正規職員募集の志望状況について報告があった。

齋藤人事委員長より2019年度の事務局の体制について提案があり、これを承認した。

9. 法人・管理部

清水事務局長代行より11月末時点の予算決算対照表、比較財務諸表、および月次収支実績について説明があった。

第 5 号議案 その他の議案

1. 次回理事会開催について

次回理事会は 2019 年 1 月 25 日（金）午後 6 時 30 分に開催する。

平成 30 年 12 月 21 日（2018 年）

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第 52 回理事会

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 成田 秀則